

# チャレンジ！ウォームビズ

## ねらい・目的



### 【総合学習として】

- ・衣服の正しい着方を学び、ウォームビズの実践的態度を養う。

### 【環境教育として】

- ・北海道の冬に欠かせない暖房器具からの二酸化炭素排出量や燃料使用量の増加について知り、ウォームビズの必要性に気付く。

## 取り組みの背景として



二酸化炭素の増加が、地球温暖化の主な原因とされています。

特に

北海道では、冬の寒さから身を守る暖房によって二酸化炭素の排出が多くなる傾向にあります。

そこで

昔からの生活の知恵や工夫などを知る学習を通して、暖房器具に頼らない「防寒」の仕方を知り、「防寒」を実践していこうとする態度を身につけていきます。

## 取り組み項目(実施方法)



このプログラムは、環境にやさしい着衣の工夫である『ウォームビズ』の実践的な態度を養うことを中心にしたものです。そのため、今、なぜウォームビズなのか、なぜ二酸化炭素を減らしていかなければならないのかといった地球温暖化の原因について調べていく学習は、理科や社会といった教科や、そこからの発展としてあらかじめ理解していることが前提となります。

### 関連する教科の学習

- 地球温暖化とその原因について（5年国語「人と『もの』との付き合い方」）
- 地球環境を取り巻く問題や地球環境を守る取り組みについて（5年社会「住みよいくらしと環境」）
- 布地による保温実験、目的に合わせた着方（6年家庭科「衣服の着方を考えよう」）

関連資料として「さっぽろエコとくガイド」札幌市環境局発行

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/ecotokuguide/index.html>

## 取り組み1 札幌のエコライフの取り組みはどうなっているの？

- 家庭での取り組みについて話し合う。
  - ・買い物にはマイバッグを持参しているかな。
  - ・照明はこまめに消しているよ。
- グラフを通して札幌（北海道）の二酸化炭素排出の実態をさぐる。
  - ・札幌は全国に比べて二酸化炭素の排出量が多いな。
  - ・原因は？冬期間の暖房だ！
  - ・どうしてこんなに増えているのかな？

### ポイント

グラフの活用が大事。

子どもの実態に合わせて資料を変えてみることもできる。

【資料⇒「エコとくガイド P22」世帯当たりの二酸化炭素排出量】

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/ecotokuguide/pdf/21-22.pdf>

- 暖房の方法や利用の仕方や変容について調べる。
  - ・昔は石炭、今は灯油暖房が中心だね。
  - ・部屋ごとに暖房器具があるよね。
  - ・部屋を暖かくして、半袖で過ごしているのって…？！

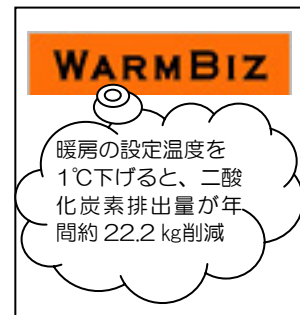
### ポイント

生活スタイルの変化と暖房器具の変化を関連付けて調べていくことで見直していくべき点を明らかにしていくことができる。

暖房の使い放題は、環境にもよくない。どうしたらいいのかな？

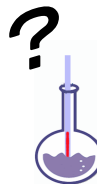
## 取り組み2 『ウォームビズ』って何だろう？

- 『ウォームビズ』について知っていることや関連している商品やすすめていることならについて調べてみよう。
  - ・『クールビズ』に対して生まれたものなんだ。
  - ・食べ物や暮らし方、着る物など様々なものが関連しているね。
  - ・暮らし方を見直していくことかな。
  - ・着る物の工夫が暖房の節約につながるよ。
- 暖かい洋服や着方など着る物に関するデータを集め、実際に試したり実験したりして確かめてみよう。
  - ・様々な素材の服があるね。
  - ・生地のも厚さも暖かさに関係あるのかな。
  - ・暖房が今ほど発達していない時には、たくさんの服を重ねて着ていたようだよ。



### 保温実験

ペットボトルのお湯に様々な素材の服を巻き付け、冷めにくさを比べてみる。



### 体感実験

タートル⇔首の開いた服  
ぴったり⇔ゆったり  
下着あり⇔下着なし  
フリース⇔羊毛⇔綿

ポイント

暖かい着方とはどのようなものかを考え、資料から得たことをもとに実際に体験してみること、その違いを実感したい。

それが、実践的な態度を養っていくことにつながるからである。

衣服の着方によって、暖かさ（体感温度）がこんなに変わるんだ。  
暖房をつけ過ぎなくても暖かく暮らしていけそうだよ。

取り組み3 チャレンジ！ウォームビズ

○調べた事をもとに、暖かい衣服の着方を家族に提案しよう。

- ・どのように提案するといいな？
- ・実際に家庭でやってみようよ。

○学校生活における暖房についても設定温度や電気代などを調べ

たり、各学級における生活実態を調査したりして全校でも取り組めるようなウォームビズの提案をしていこう。

- ・電気代は、10月から5月までで〇〇円！
- ・学校では冬でも半袖。そして暖房を朝から帰りまでつけているよ。もったいないね。
- ・全校のみんなにもウォームビズの実践を提案して暖房による二酸化炭素を減らしていこうよ。

○全校みんなでやってみよう。

- ・みんなの協力を求めるためのキャンペーンをしたいな。



ポイント

電気代や灯油代など目に見える形で取り組みの成果があらわれるようにすると、子どもの取り組み意欲が増す。

衣服の着方を工夫し、暖房を使いすぎない生活を目指していこう。

取り組み効果



効果 1 札幌の冬の暮らしと温暖化とをつなげて考えられる

人々は冬の寒さを克服し、暖かく暮らすために便利な商品を手に入れ暮らしを豊かにしてきた。しかし、それらがかえって地球温暖化に拍車をかけていることに気付くことで、自分のこれからの暮らし方を考え、できることを実践していこうとする子どもを育む。

効果 2 ちょっとした工夫でできるエコライフを実感させる

「暖房設定温度を1℃下げる」と口で言うのはたやすいが、衣服の着方と共に意識することで、実践的な態度を養っていくことにつながる。

二酸化炭素の排出が冬場の灯油（電気）使用料と比例することから、昨年度との比較をすることで目に見える実践の結果となる。

## 他のプログラムとのつながり



### ■指一本からできる省エネ！（小学校編）

委員会活動など学校の仲間で環境にやさしい行動を実践し、取り組みを地域に広げる。

### ■省エネ大作戦（家庭・地域・職場編）

家庭でのエネルギーの使い方を振り返り、簡単にできる省エネに取り組む。

### ★総合的環境副教材

5・6年生用 1 地球の環境 (1) 地球温暖化

## 参考資料等



### 1 エコライフについてわかるホームページ

○チームマイナス6%

<http://www.team-6.jp/index.html>

○省エネルギーセンター 家庭の省エネ大事典

<http://www.eccj.or.jp/dict/index.html>

### 2 ウォームビズについてわかるホームページ

○環境省 COOL BIZ & WARM BIZ

<http://www.env.go.jp/earth/info/coolbiz/>

○省エネルギーセンター 着衣の工夫と体感温度等の違い

[http://www.eccj.or.jp/sensorial\\_temp/index.html](http://www.eccj.or.jp/sensorial_temp/index.html)